

社団法人私立大学情報教育協会  
平成21年度第4回英語教育 IFD/IT 活用研究委員会 議事録

- I. 日時:平成 21 年 11 月 3 日(火)午前9時半～午後1時 10 分  
II. 会場:私情協事務局会議室  
III. 出席者:山本委員長、田中副委員長、北出委員、原田委員、小林委員、  
井端事務局長、森下、恩田、

IV. 検討事項

英語の学士力の詳細設計について前回まとめた素案を私立大学の言語教員200人に送付したが、そのうち62人から回答があり、その回答すべてに基づき、素案をつぶさに検討し、改訂した。

その結果、到達目標に掲げた4点のうち、第3点めの「英語を通じ他文化・異文化コミュニケーション学部を理解する」の項目は削除した。また、他の3点については、目標、コアカリキュラムのイメージ、および測定方法がより明確に示されるように語句と表現及び内容を改善した。

素案及び改定案は、別紙の通り。

V. 次回の委員会日程

次回の会議:12月11日(金)1時30分から3:30分まで。

議題:「英語の学士力の到達目標を実現するためにどのような IT 使用の教育方法や教育活動が必要か、また可能であるかを検討する。

これについて、12月と1月の2回ほどの会議で手際よくまとめたいので、各委員は検討内容について会議開催前にまとめて事務局までメールで送ることを依頼する。

インターネットによる意見反映済み

英語教育の学士力(案)

平成 21 年 11 月 3 日現在  
英語学教育 FD/IT 活用研究委員会

【到達目標】

1. 英語の基本語彙や基本文法をもとに、より高い技能と運用能力を身につけている。

【コアカリキュラムのイメージ】

語彙、文法、表現など

【到達度】

- ① 大学入学時まで培った語彙力を前提に、さらに必要な語彙を獲得し、活用できる。
- ② 大学入学時まで培った文法知識を活用して、英語でより適切な表現ができる。
- ③ 日常的な話題を読み・聞き、また口頭や文章で伝達することもできる。
- ④ 社会の身近な話題について英語で意見を述べ、発表・質問することができる。

**【測定方法】**

①～④は、英語の語彙力・文法知識、技能、能力の達成度を客観テストおよび Can Do リストなどにより確認する。

**【到達目標】**

2. 英語で情報を理解して考えをまとめ、対話を通じて情報・意見などの交換ができる。

**【コアカリキュラムのイメージ】**

英語による多様なコミュニケーションなど

**【到達度】**

- ① 英字新聞やインターネット上の英文情報などを概括的に理解し、また英語文献を精読できる。
- ② 英語版ラジオやテレビ番組などを視聴・鑑賞して、番組の概要を伝達し、意見交換できる。
- ③ 様々な英語使用者と口頭や文書で自分なりの表現を用いて意見交換することができる。

**【測定方法】**

①～③は、教員などによる評価、日本国内で普及している外部試験や各大学の多様なテスト、および学習ポートフォリオにより確認する。

**【到達目標】**

3. 専門分野の必要性に応じて、適切なレベルの英語語彙・英語表現を使用できる。

**【コアカリキュラムのイメージ】**

専門基礎分野の語彙、英語論文作成の基本表現など

**【到達度】**

- ① 専門分野における英語文献や英語の講義・講演などを概括的に理解できる。
- ② 専門分野におけるテーマについて自分の考えを英語で作成し、発表することができる。

**【測定方法】**

①と②は、専門分野の教員と連携して試験やプレゼンテーションなどにより確認する。